



県民だより

第51号

●1992年11月19日発行 ●編集・発行/栃木県企画部広報課 〒320宇都宮市埜田1丁目1番20号 ☎0286・23・2158 ●県人口/1,964,100人/男978,715人/女985,385人●世帯数599,817世帯(1992年10月1日現在)



こんなに大きくなつたよ!



「かっ」「かっ」「おっ」の

ふれあい

10月11日上河内村で、第2回目の「とかいなかふれあい交流」が実施されました。東京都大田市場青年会の家族の皆さんが、夏に自分たちで定植したブロッコリーとさつまいもを収穫しました。そのあと、採れたての野菜を料理した野外パーティーで、地域の皆さんと楽しいひとときを過ごしました。



今週はとちぎ県

村 交流の場づくり

農業は、私たち国民の生活にとって不可欠な食料の安定供給や、緑豊かな国土の保全などの重要な役割を担っています。

しかし近年の農村においては、農家の兼業化、高齢化、非農家との混在化などにより、その機能が低下してきています。

一方都市では、人口の過密、緑の減少、大気汚染など、生活環境の悪化が進み、都市住民は「自然」「緑」「ふるさと」を求め、農村の持つ『うるおいとやすらぎの空間』に対して期待を寄せています。

こうしたことから、県では『農村の活性化』と『都市住民のリフレッシュ』をめざし、都市と農村の交流を促進するために、様々な事業を支援しています。

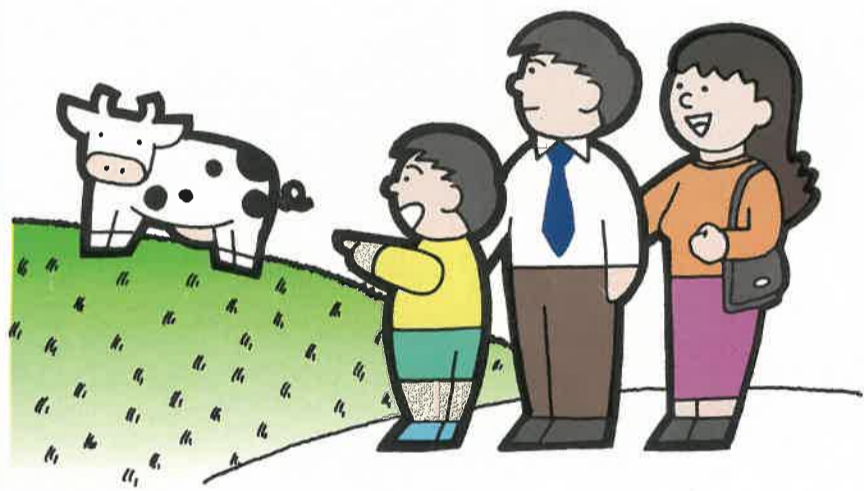
ここで、現在本県において取り組まれている都市と農村の交流事業についてご紹介いたします。

1. イベントの開催

●ふるさとマロニエフェア



毎年宇都宮市のマロニエプラザで開かれている「ふるさとマロニエフェア」では、県内各市町村の観光、伝統文化を紹介するとともに、農産物や特産品の展示・即売を行います。今年も10月23日～25日の3日間で、約5万人が訪れました。特に今回は25日に「大朝市」を開催し、産地直送の農産物などを求める方々にぎわいました。



2. 交流事業



〈農業後継者との交流・たんぼほの集い 大田原市〉

●とがいなかふれあい交流

首都圏に住む家族を招いて、夏と秋の2回農家に宿泊してもらい、農作業や交歓会を通じて交流を図っています。

今年の上河内村、喜連川町、佐野市の3市町村で、夏に植えた作物を秋に収穫したり、各地域の特徴を生かした体験などを盛り込んで実施しました。(表紙に関連写真)

●農業後継者との交流

企業に勤める女性と農業後継者が、農作業の体験、視察研修、意見の交換やスポーツなどを通じて交流を深める場づくりを、栃木県農業振興公社が支援しています。

3. としとむらのふれあい空間の整備

●朝市・直売所、観光農園の開設

地元で生産した新鮮な野菜や果物を、観光やサービスマスのニーズに応えながら低価格で販売し、地域の住民や観光客と交流を深めています。同時に、女性や高齢者の所得の確保や、生きがい作りにも役だっています。

県内全域に、朝市・直売所は約100ヶ所、観光農園は約450ヶ所設置されています。

●交流拠点の設置

都市住民に、土に親しみ農作業を体験する機会を提供するための「市民農園」・「体験農園」や、地域の個性を生かしたマーケットテイング施設など、恒常的な交流拠点の設置・整備を進めています。また、農村地域の伝承文

下金井農産物直売所

木・日曜朝7:00～12:30分



〈宇都宮市下金井農産物直売所〉



宮市石那田町にある観光りんご園

とちぎの花

暮れの御挨拶は「シクラメン」で…



師走の慌ただしい時期に早春の香りを届けてくれる「シクラメン」は、ヨーロッパ(地中海沿岸)で生まれ、オランダの育種家の手により育てられ、「シヨパン」、「バツハ」、「モーツァルト」などの作曲家シリーズを始めとして多くの品種が日本にやって来ました。

その後も品種改良がなされ、赤や白、ピンクなどの他に、最近では黄色い品種「かぐや姫」が本県生産者の手で作り出されました。

また、本県では、今市や芳賀地方を中心として、年間130万鉢が生産され、暮れの贈答用を中心に多くの需要に応じています。

▶県首都圏農業課 (☎0286-23-2328)

とちぎ県を知る

一統計から見た栃木県一

皆さんは、普段から商店で買い物をしていると思いますが、栃木県の商業がどのように変化しているのか御存知でしょうか。

平成3年7月1日現在での本県の卸売業の商店数は7,155店、従業者数は55,892人、年間商品販売額は4兆4,037億円となっています。また、小売業の商店数は25,546店、従業者数は104,617人、年間商品販売額は2兆2,348億円です。

図1は、卸・小売業の商店数、従業者、年間商品販売額の伸びを示しています。昭和63年からの増減率を見ますと、商店数は0.04%の減少、従業者数は2.5%の増加、年間商品販売額は24.8%の増加となります。

商店数は減少しているにもかかわらず、年間商品販売額は増加しています。卸売業、小売業を分けて変化を見てみるとどうでしょうか。

図1 商店数・従業者数・年間商品販売額の推移 (指数: 57年=100) 資料: 「商業統計調査」

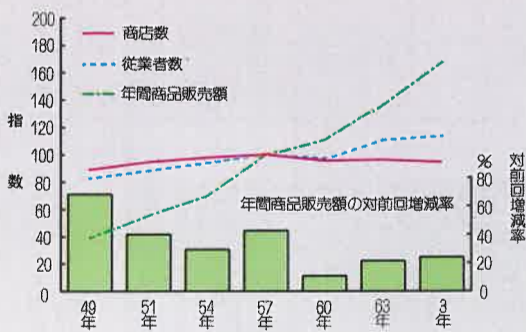
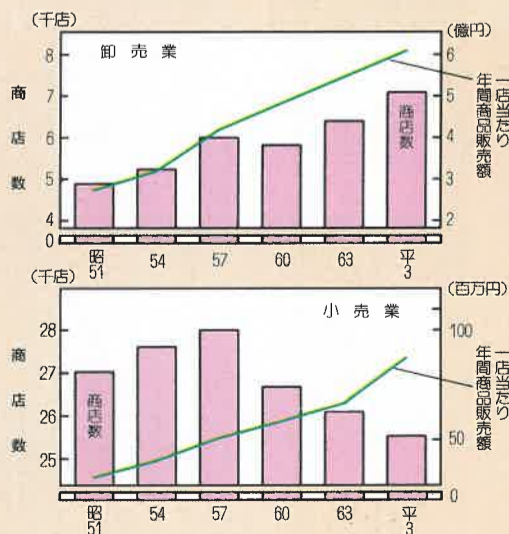


図2 卸売業・小売業の商店数及び一店当たり年間商品販売額の推移 資料: 「商業統計調査」



▶統計に関する御相談は「統計資料室」(県庁本館2階北側 ☎0286-23-2255)へ。

都市/農村



10月18日 藤原町会場

●緑のふるさとと高原に集う「マイタウン畜産フェア」

「とちぎ和牛」ブランドのPRも兼ねて毎年2回開催されていた「ビーフピア」を、昨年「マイタウン畜産フェア」と改め、自然の中でのバーベキューやゲームなどを通して、生産者や地域住民と消費者の交流を図っています。

10月18日に実施した藤原町の会場には約150組・600人が集い、「とちぎ和牛」に舌づつみを打ちました。今年の第2回目は11月23日に益子町で開催される予定です。

●そのほか、都市で生活する方に、農業体験や農村生活に接する機会を提供しています。今年10月24日〜25日、東京都代々木公園で「まちとむらの交流大会」を開催し、農産物の展示即売や調理販売、郷土芸能の上演などにより、「ふるさと」を紹介しました。

4. ふるさと宅配便



▼問合せ 県農政課農村振興班 (☎0286-23-2200)



●会費を納めてもらい、年に数回、旬の農産物や特産品などを詰め合わせて、各地域の出身者や希望者に「ふるさと」を宅配しています。現在、県内8市町村で実施しています。

化を、後継者や都市住民に伝えるための施設や機材などの整備を支援しています。

〈宇都

情報スクランブル

県庁のあて先
〒320 宇都宮市埴田1-1-20

催し

県立博物館開館10周年記念 特別企画展 「中国浙江省文物展」

浙江省博物館の優品により、浙江省の風土・歴史の一端と、同省と本県・日本の関連を紹介いたします。

▶期間 11/29(日)まで開催中

県立博物館三二企画展 「おかげさまで10周年」

開館以来、10年の間に収集した館収蔵品の一部や、館の調査研究活動の一端を紹介いたします。

▶期間 12/8(火)～1/31(日)

▶休館日 祝日を除く毎週月曜日、祝日の翌日、12/29～1/3

▶時間 9:30～17:00(入館は16:30まで)

▶入館料 一般200円 大学・高校生100円
小・中学生50円

▶問合せ 県立博物館 (☎0286-34-1312)

県立美術館開館20周年記念展 「太陽と風と雨」 一風景画の成立と展開・ ヨーロッパとイギリス

ターナー、コンスタブルをはじめとするイギリスの風景画と、彼らに影響を与えたヨーロッパの風景画をあわせて130余点紹介いたします。

▶期間 1/10(日)まで開催中

▶休館日 祝日を除く毎週月曜日、祝日の翌日、12/28～1/4

▶時間 9:30～17:00(入館は16:30まで)

▶入館料 一般800円 大学・高校生500円
小・中学生200円

▶問合せ 県立美術館 (☎0286-21-3566)

県子ども総合科学館第14回企画展 「スペースアート展」

国際宇宙年にちなみ、スペースアートの第一人者・岩崎賀都彰氏の宇宙画を中心に、宇宙の歴史や成り立ちを科学的に見つめます。

▶期間 11/22(日)～1/10(日)

(※祝日を除く毎週月曜日、第4木曜日、祝日の翌日、12/28～1/4は休館)

▶時間 9:30～16:30(入館は16:00まで)

▶入館料 大人500円 子ども200円

▶問合せ 県子ども総合科学館 (☎0286-59-5555)



県営公園「緑の相談所」の催し

▶中央公園緑の相談所 (☎0286-36-7621)
11/27(金)～29(日) 「洋ラン展」

▶井頭公園緑の相談所 (☎0285-82-4475)
11/27(金)～30(日) 「シクラメン展」

▶那須野が原公園緑の相談所 (☎0287-36-1220)
11/21(土)～29(日) 「子供写生大会作品展」

県総合文化センター文化事業

▶クリスマスコンサート
12/25(金) 18:30～
全席指定 3,000円

▶二期会オペラ「蝶々夫人」
3/12(金) 18:30～
S7,000円 A5,000円 B3,000円

※前売券発売中
▶問合せ 県総合文化センター (☎0286-43-1010)

栃木県警察音楽隊 創設20周年記念演奏会

▶日時 11/21(土) 13:45開演

▶会場 県総合文化センターメインホール

▶出演 栃木県警察音楽隊・カラーガード隊
茨城県警察音楽隊・カラーガード隊
作新学院高等部吹奏楽部
宇都宮市立旭中学校吹奏楽部

※入場は無料ですが、整理券が必要です。

▶問合せ 県警察本部秘書課 (☎0286-21-2121 内2214)

募集

平成5年度県立がんセンター レジデント(がん専門研修医)募集

▶内容 内科系、外科系、放射線治療、臨床病理の各コースより選択

▶人員 若干名

▶資格 大学卒業後5年以内で、臨床経験を2年以上お持ちの方

▶研修期間 3年(平成5年6月～8年5月)

▶身分 栃木県条例に基づく非常勤嘱託員

▶報酬 月額23万円程度(税込)

▶社会保険 雇用保険・健康保険・厚生年金保険に加入

▶締切り 平成5年1月22日(金)まで

▶問合せ 県立がんセンター事務局企画情報課 (☎0286(58)5151)

案内

森林を伐採するときは届け出を!

森林は、木材を生産する働きだけでなく、水資源の確保、大気浄化、洪水や山崩れの災害防止など、生活環境を守ったり、森林浴やレクリエーションの場を提供してくれるなどの公益的な機能を持っており、私たちの暮らしと密接に結びついています。

無秩序な森林伐採を防止し、緑豊かな山を守るため、森林の所有者の方は、伐採を行う事前に『伐採届出書』を最寄りの林務事務所に提出してください。

▶問合せ 最寄りの林務事務所または県林政課 (☎0286-23-3262)



御利用ください! 情報公開相談室

情報公開制度(公文書の閲覧制度)の相談・受付を行っています。また、県が作成した資料を自由にご覧になれます。

場所 県庁東館1階 ▶問合せ 県文書学事課情報公開班 (☎0286-23-2058)

11月29日(日)

知事選挙・県議会議員(宇都宮市選挙区、栃木市選挙区、鹿沼市選挙区、下都賀郡選挙区、那須郡東部選挙区)補欠選挙

——栃木が好き!同じ心を選びたい——

栃木県選挙管理委員会・栃木県明るい選挙推進協議会

県のシンボル紹介

(県獣・カモシカ)



昭和39年1月17日告示

県獣・カモシカは、県民に野生動物を理解してもらい愛護の精神を高めるとともに、明るい話題を提供するため、県鳥獣審議会の答申により選ばれました。

体はシカよりやや小さく、オス・メス両方に短い角が生えています。県の北西部の山地の奥深くに棲み、性格はおとなしく、草木の芽や木の皮を食べています。

日本固有のウシ科の獣で、特別天然記念物に指定されている貴重なものであるため、本県を代表するものとして県獣に指定されました。

県政テレビ番組「ウィークリー栃木」

毎週木曜日午前8時30分～8時45分 テレビ東京12チャンネル

県内各地のホットな話題を私たちがレポートします。
ヨロシクネー!!



MINAMI



高松しげお



相馬 宏美

番組に対するご意見・ご希望・身近な情報等をお寄せ下さい。

あなたの声を県政に

●県政についてのご意見・ご要望・日常生活でお困りのことなど、お気軽にご相談ください。

●県が発行する報告書やパンフレットを展示、ご希望の方にはおわけしています。是非ご利用ください。

- 中央県民センター ☎0286-23-3765
- 県南県民センター ☎0282-24-5665
- 県北県民センター ☎0287-23-1555
- 上都賀県民相談室 ☎0289-64-9419
- 芳賀県民相談室 ☎0285-82-5888
- 安蘇県民相談室 ☎0283-24-2603
- 足利県民相談室 ☎0284-42-9700
- 小山出張相談室 ☎0285-22-9164
- 塩谷県民相談室 ☎0287-43-2142
- 南那須県民相談室 ☎0287-83-1555

県政ラジオ番組(栃木放送)

●県民の窓
毎週日曜日～金曜日
午後0時15分～0時30分

●県庁ダイアリー
毎週月曜日～土曜日
午前8時42分～8時47分

●県政アラカルト
「知事さんこんにちは」
毎月第3日曜日
午前9時15分～9時45分



文字放送

●毎日午前6時～午後12時
1チャンネル(550#)
●NHK総合テレビの電波に多重し、県からのお知らせ、生活情報を常時放映しています。

●文字放送を見るには…
文字放送受信機能を組み込んだ文字放送内蔵型テレビか、文字放送専用アダプターが必要です。くわしくは、お近くの電気屋さんでおたずねください。

